

「田辺圏域医療と介護の連携を進める会」
第40回（通算第119回）定例会 会議録

日 時：令和2年1月21日（火） PM7：10～8：30
場 所：田辺市民総合センター 1F 機能訓練室
出席者： 20 名

別紙のとおり

1. 「田辺圏域医療と介護の連携を進める会」定例会について

【19：10～20：30】

19：10～ 開 会

19：10～19：15 情報提供

- ・「みんなで考えよう。災害その時」防災研修について
- ・連携の会主催「クレーム対応研修」「ピア上映会」
- ・冬のお悩み一挙解決 SP

19：15～19：50 研 修

「高齢者の社会参加について考える」

～生活支援サービスとご近所ボランティア講座～

講師：田辺市役所 やすらぎ対策課

井田 範子

19：50～20：30 意見交換と発表

20：30 閉 会

【研修内容】

講義内容

- ・日常生活支援総合事業の目指すもの 「元気高齢者の増加」「高齢者が支援の支え手になる」生活支援の担い手と介護予防のとりくみの紹介
- ・生活支援体制整備事業のコーディネーター業務の一つとしての「ご近所ボランティア養成講座」を修了した高齢者がシルバー人材センターに登録することで、生活支援サービス業務に従事することができるしくみ
- ・地域の各種団体を対象に社会福祉協議会（委託事業）が講座を開催。シルバー人材センターへの初期登録費用の補助をすることにより、参加しやすい環境整備をしている。

- ・生活支援サービスの従事によるメリット
生きがい・やりがい・金銭面・介護予防
- ・社会参加すること、「外出」「交流」は健康維持の基本。調査でも外出することは、介護予防や認知症予防に効果あり。
- ・課題もあるが、積極的に進めていきたい

【意見】

高齢者の社会参加について

- ・介護サービスだけで支えきれないのは実感している。支えている人も高齢化している。
- ・制度の維持のために、需要と共有のバランスが必要
- ・通院の移動手段の支援が欲しい
- ・今まで培ってきた高齢者のスキルを生かせるような仕組みが必要
- ・院内介助とかにヘルパーなどの経験者の力を使ってほしい。
- ・さまざまな新しい制度があるのは、介護部門に携わっていないと情報が届かない。広報にもっと力を入れていくことが大切
- ・介護サービスとシルバーサービスの併用や使いかた
- ・社会参加や仕事としての地域貢献ができる

【次回の定例会】

以下の日程で実施する。

日時：令和2年2月18日（火） 午後7時～

場所：田辺市民総合センター 1F 機能訓練室

内容：未定